

道路橋に関する基礎データ収集要領(案)による損傷の種類、評価および評価の目安

損傷		評価の目安			区分		
①	腐食	(鋼橋)	錆なし	—	—	a	
			錆あり	表面のみ		局部的	b
				板厚減少、鋼材表面の著しい膨張		広範囲	c
		局所的		d			
		広範囲		e			
	(耐候性)	一様な錆が発生している		—	—	a	
うるこ状の錆が発生している		—	—	c			
層状剥離、板厚減少等が発生している		局部的	d				
		広範囲		e			
②	亀裂	損傷なし	塗膜割れ程度 (長さが短く、錆が出ていない)		無		
		損傷あり	明らかな亀裂を生じている 亀裂の疑いのある塗膜割れが生じている (長さが長く、錆が出ている)		有		
③	ボルトの脱落	損傷なし	—			無	
		損傷あり	ボルトの脱落がある(本数の多寡によらない)			有	
④	破断	損傷なし	—			無	
		損傷あり	破断している(部材がつながっている場合は亀裂)			有	
⑤	ひびわれ 漏水 遊離石灰	ひびわれなし	—		—	a	
			ひびわれあり	下表に示す「構造物に及ぼす影響が大きいひびわれ」	0.2mm未満(小)	漏水・遊離石灰の有無を問わない	ひびわれのみ
		0.2mm以上(大)			漏水のみ	軽微な遊離石灰	d
		0.2mm未満(小)		漏水・遊離石灰の有無を問わない	著しい遊離石灰・錆汁	e	
		上記以外(影響が小さい)		0.2mm未満(小)	ひびわれのみ	b	
		0.2mm以上(大)	漏水のみ	軽微な遊離石灰	c		
著しい遊離石灰・錆汁	d						

主桁	①	支間中央部	主桁直角方向の桁下面および側面の鉛直ひび割れ
	②		主桁下面縦方向ひび割れ
	③	支間1/4部	主桁直角方向の桁下面および側面の鉛直ひび割れ
	④	支点部	支点付近の腹部に斜めに発生しているひび割れ
	⑤		支承上桁下面・側面に鉛直に発生しているひび割れ
	⑥		支承上から斜めに側面に発生しているひび割れ
	⑦	掛け違い部	掛け違い部のひび割れ
⑧	PC桁全体	シーズに沿って生じるひび割れ	
橋脚	①	T型橋脚	張出し部の付け根側のひび割れ
	②	共通	広範囲に及ぶ多数のひび割れ
	③		軸方向に複数の大きなひび割れ
	④	支承下部	支承下面付近のひび割れ
	⑤		はり中央部下面のひび割れ
	⑥	ラーメン橋脚	柱全周にわたるひび割れ

※ひびわれ幅の評価にあたっては近接が容易でないなどにより計測を行えないものについては、遠望から容易にわかるひびわれを、ひびわれ幅が大きいと判断する。

損傷		評価の目安			区分		
⑥	鉄筋露出	なし	—	—	無		
		あり	部分的	表面のみ		鋼材断面の減少、鋼材の著しい膨張	
			広範囲	表面のみ		鋼材断面の減少、鋼材の著しい膨張	
⑦	抜け落ち	損傷なし	—			無	
		損傷あり	コンクリート塊の抜け落ちがあり			有	
⑧	床版ひびわれ	ひびわれなし	—	—	—	a	
			0.2mm未満	-方向	@1.0m程度	漏水跡、遊離石灰無	b
		ひびわれあり	0.2mm未満	-方向	@0.5m程度	漏水跡、遊離石灰無	c
			0.2mm程度	格子状	@0.5m程度	漏水跡、遊離石灰無	
			0.2mm程度	-方向	—	漏水跡、遊離石灰有	d
			0.2mm程度	格子状	—	漏水跡、遊離石灰有	
0.2mm以上	—	部分的角落ち	漏水跡、遊離石灰無	e			
—	—	連続的角落ち	漏水跡、遊離石灰有				
※ひびわれ幅や間隔は必ずしも計測を要しない。 遠望から容易に分かるひびわれについて、0.2mm以上のひびわれとする。							
⑨	PC定着部の異常	損傷なし	—			無	
		損傷あり	PCケーブル定着部の損傷(程度によらない) PCケーブルの損傷			有	
⑩	路面の凹凸	損傷なし	—			無	
		損傷あり	20mm程度未満(走行に支障がない程度)の段差がある 20mm程度以上(走行に支障があり明らかな分かる程度)の段差がある			有	
⑪	支承の機能障害	損傷なし	—			無	
		損傷あり	支承の機能が損なわれている 支承の機能が著しく阻害されている			有	
⑫	下部工の変状	沈下・移動・傾斜のいずれもない	—		洗掘はない	無	
			—		軽微な洗掘がある		
		沈下・移動・傾斜のいずれかが有る	—		著しく洗掘されている	有	
			—		洗掘はない		
		—		軽微な洗掘がある			
		—		著しく洗掘されている			